



Final Fantasy XV UnofficialFanbook#1
Gladiolus*Ignis

R18 FOR ADULT ONLY



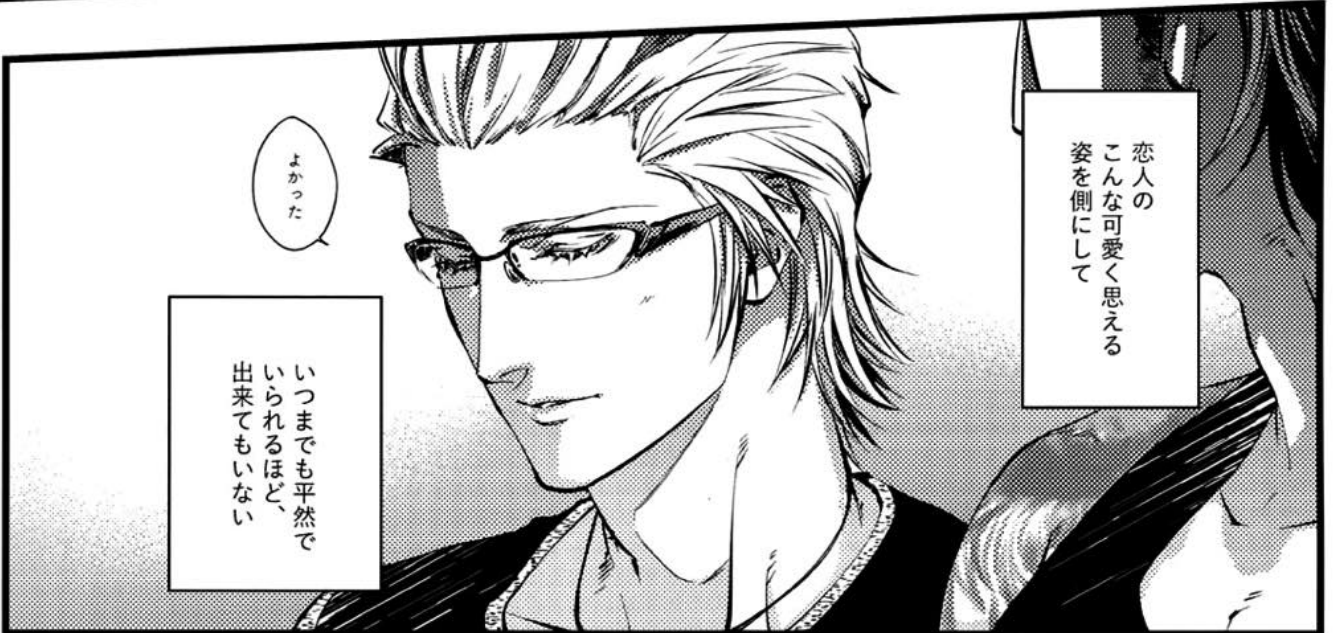
こんなにも側にいるのに
容易には触れ合えない



そりゃ、俺だって
それなりにそれなりに
年齢なワケで



そんな、不純な思いを
抱くことに葛藤している



恋人の
こんな可愛く思える
姿を側にして

いつまでも平然で
いられるほど、
出来てもいない

よかった

強引にでも
誘ってみたら…

まあ多分、
受け入れては
くれるんだろう

ただ、そういう
ことじゃない

だいたいこいつ自身
元々そっちはあまり
積極的な方じゃなくて

自分からそんな
素振りを見せた
ことだってない

何だか、
俺ばかりが悶々と
しているようで

そんな甘ったるい
考えの自分にも
尚更悶々とする

ンなことに現抜かしてる
場合じゃねえってわかっちゃ
いるんだがな…

どうした
グラディオ

考え事か？

…いや、
なんでもねえよ





そう、か…？

気持ちさえ
わかってりゃ



よく笑うようになった

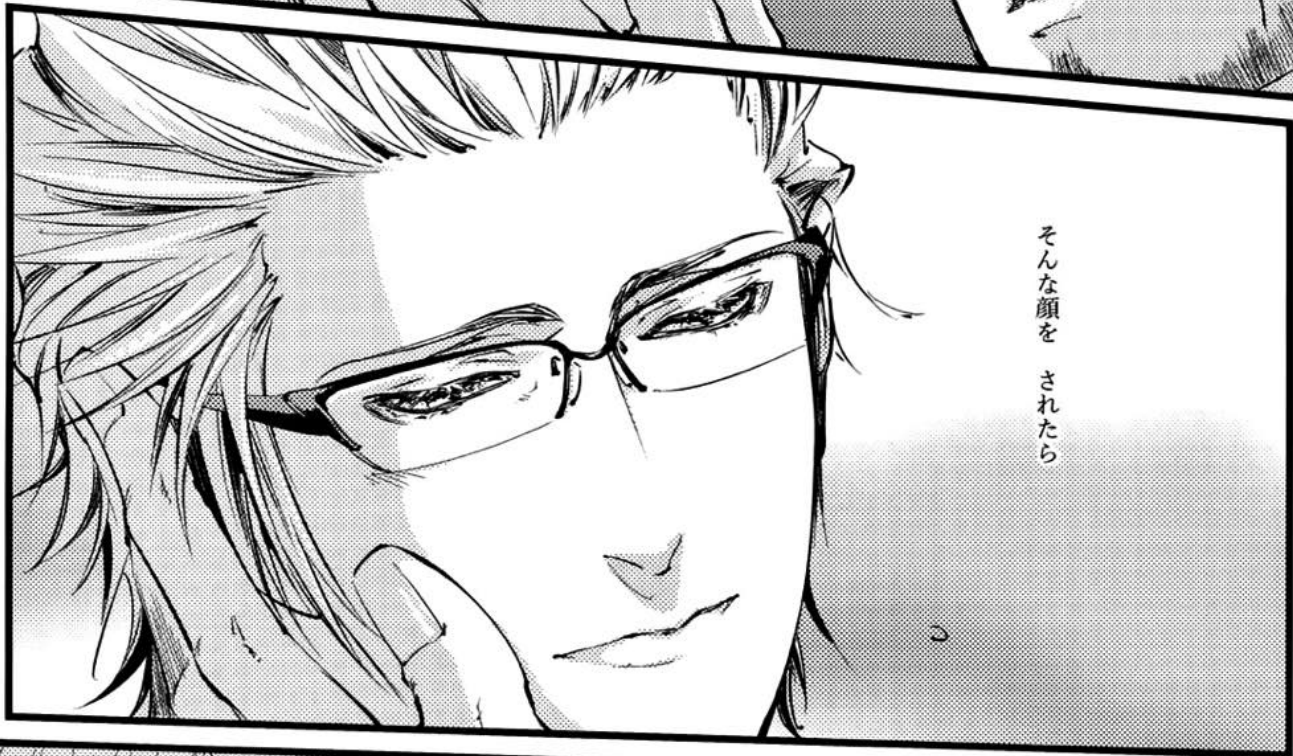
それだけで充分



充分だって、

思ってるのに

そんな

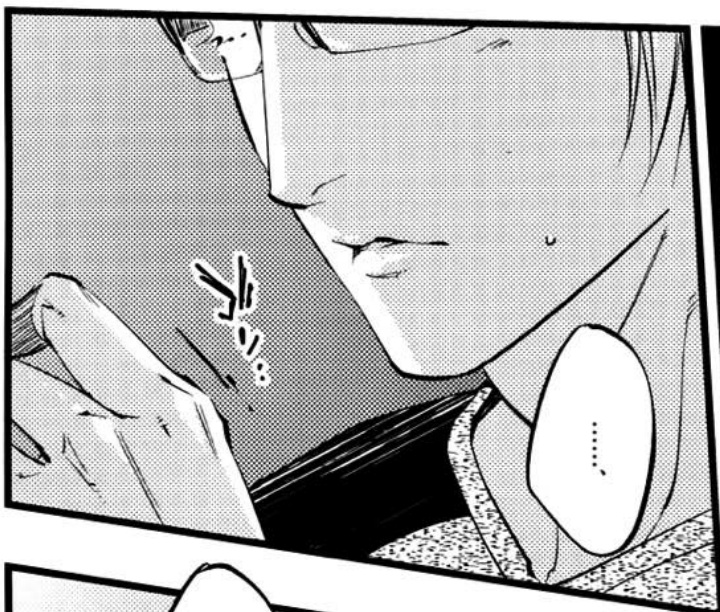


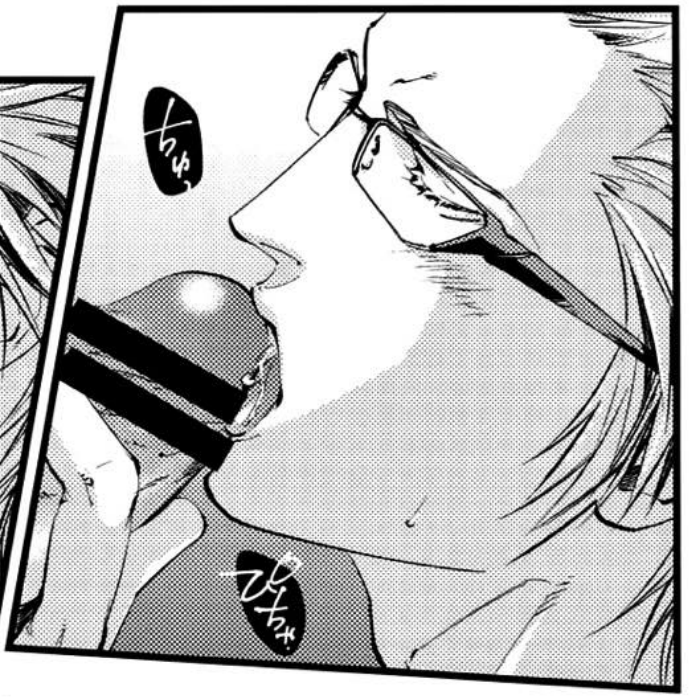
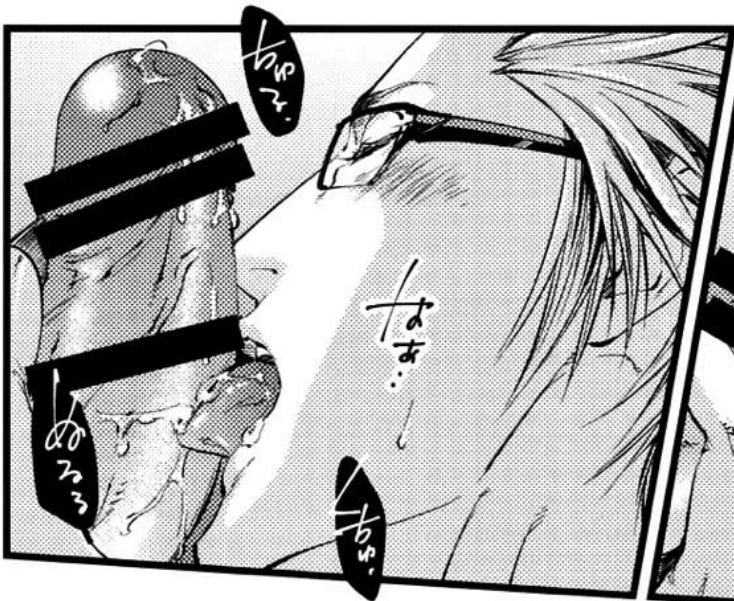
そんな顔を されたら



もう









こんなの、
耐えられるわけ
ねえだろ…



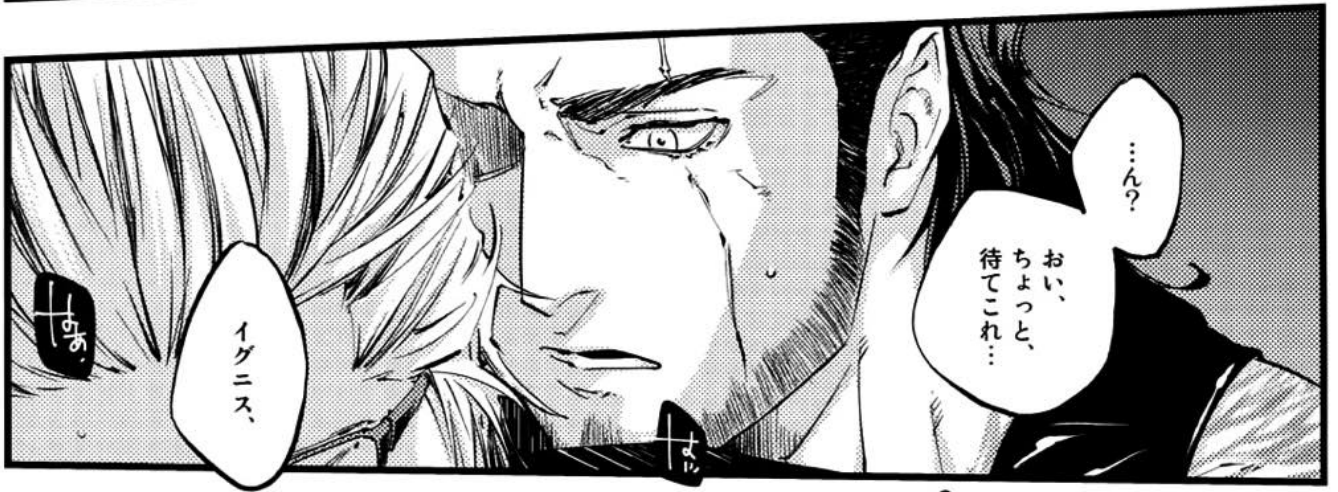
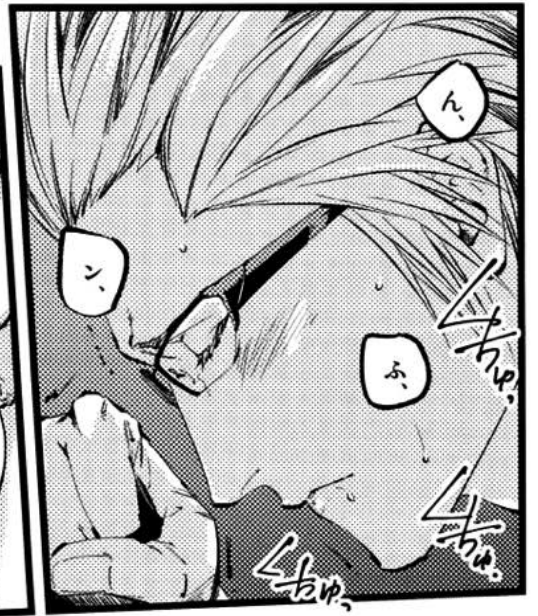
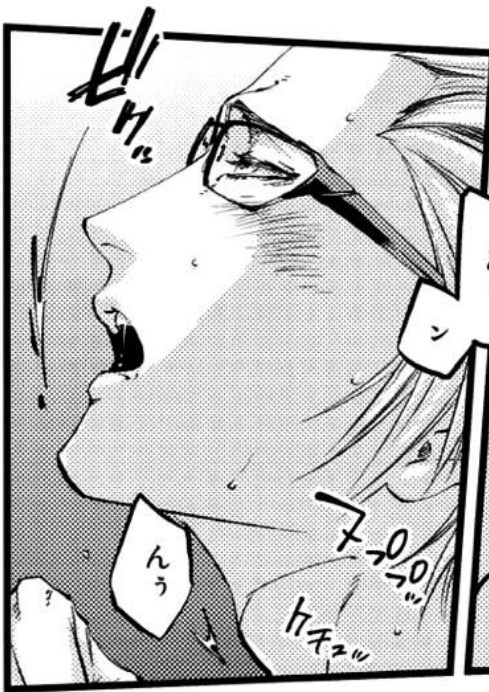
なあ、

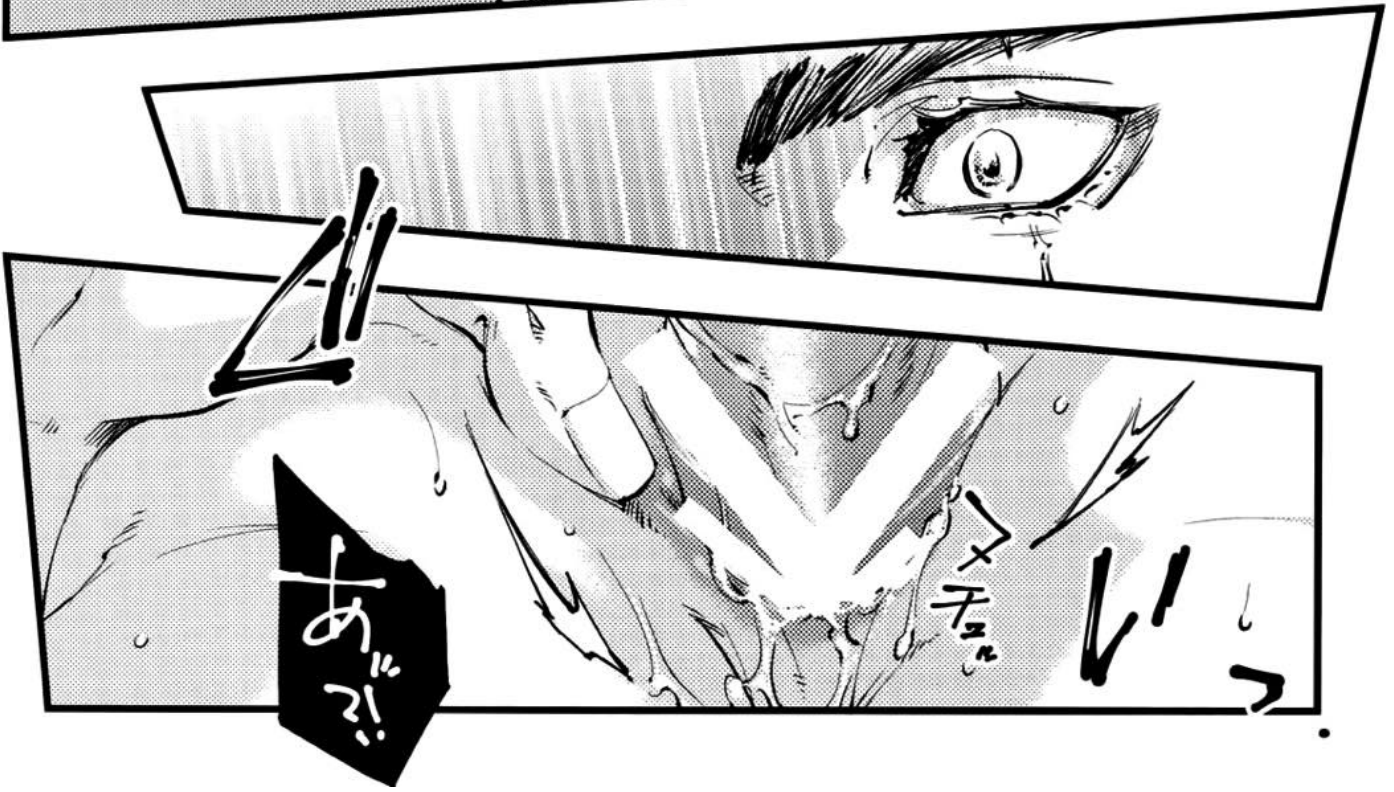


グラディオ…？



俺のを啜えただけで
こんなにしてんのか？







ミッ悪い、
もう手加減して
やれねえ、



あ
あ
あ

ッ
ッ
ッ



ま、待、て

グラ



声...がっ

あっ
ん
っ

ん
う
っ

ん
ん
っ



最初から
そのつもりで
準備して、きた
ってのかよ!

クツツッ:
たまんねえ



は、すげえ、

こっちまでッ
美味そうに、
啜えやがって

ナカ、奥まで
トロトロじゃ
ねえか、よッ



クツツッ
クツツッ
クツツッ
クツツッ



ん、ふう、

ン、



イグニス、
こっち向け

あ...



ンッ、
ン、

ハア、アッ

ふあ、

あッ、
ンむ、

Hi Ho!!
Hi Ho!!
Hi Ho!!
はあッ
んあ、

ンッ、

そ、...な、あッ

奥...ッ

だめ、...だッ、

あッ

あッ、

あア、ッ

あッ、
アッ、



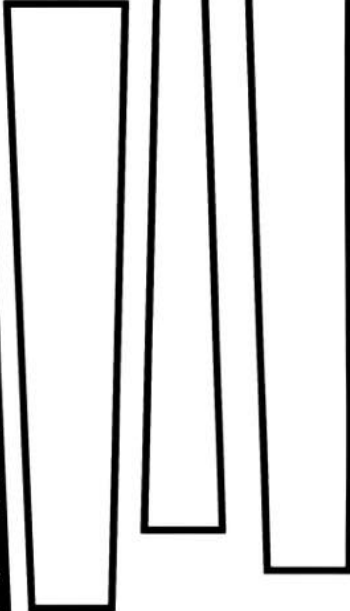
はぁッ

はぁッ

は



…なあ、お前
そんな素振り
一度も見せな
かったろ



だから、
言っただろう

苦手なんだ



…
そんな素振りなんて
見せられると思うか？

あー…まあ、



はあああああ、
わかってたけど
わっかんねえよ…

そ、そもそも
いつもお前から
くるじゃないか！

…そうですけど

なのに全然、
その…
ないから、俺は、

うんごめんさい。

かわいい



ふふ…

んだよっ
これでも
俺はなあー

いや、
違うんだ

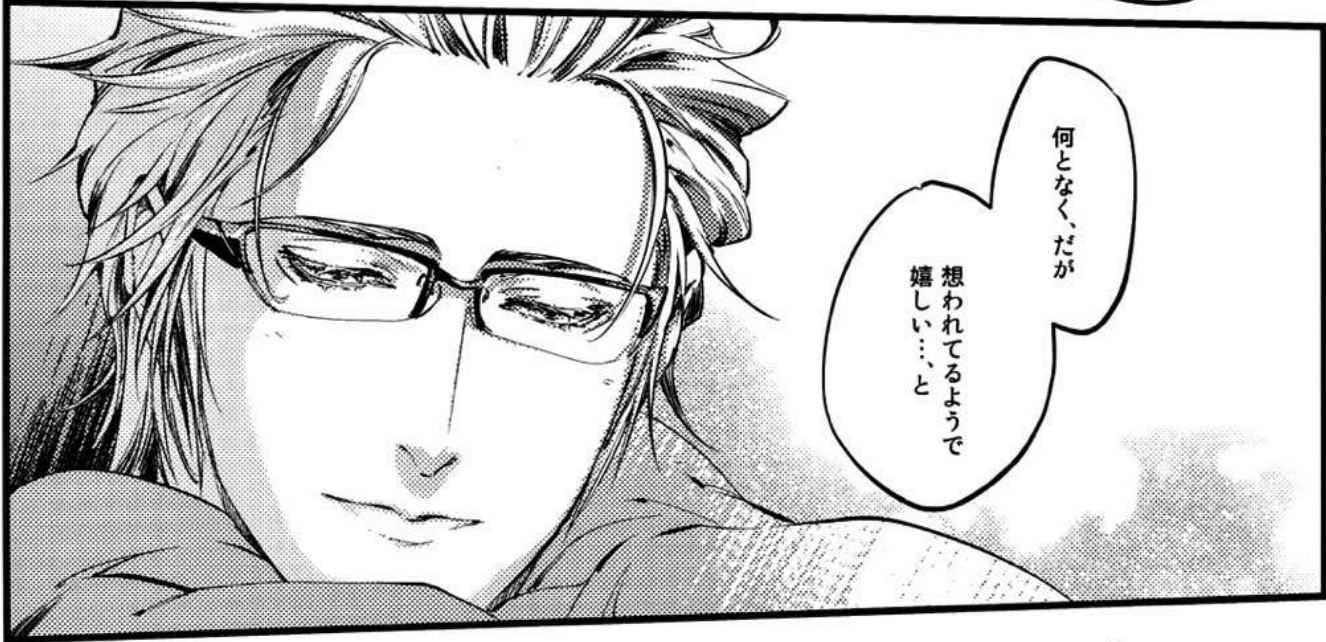
気持ちだけ
わかってりゃ
充分なんじゃ
ねえかってよ…



ただでさえお前に
負担かけてんだ

その気もねえのに
俺に付き合わせんのは
さすがにな…

…柄にもなく
考えすぎちまったた



何となく、だが
想われてるようで
嬉しい…と



何となく、
なんてもんじゃ
ねえよ!

そっか。

そっか。で
者ますな!!



あ、ま、ま…、なま、ま、ま…

せ

あ

せ



in *Ignis*

Final Fantasy XV Unofficial Fanbook #1

Gladiolus*Ignis

20170320 skull9 Presents